



令和6年5月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

好きな絵本は何？

園長 高橋 章子

先日、PTA 委員の方から広報誌「ポケット1号」に記載する職員の紹介についてアンケートの依頼をいただきました。

「アンケート①：子どもの頃好きだった遊びは？」

「アンケート②：子どもの頃好きだった絵本は？」の二つです。

保護者の皆さんは、どんな遊びや絵本を思い浮かべますか？

私は、この二つを思い浮かべるときに、絵本や遊びを思い浮かべるだけでなく、幼かった頃の我が家の絵本棚やよく遊んだ家の前の道路を思い出しました。そして、よくケンカしていた姉のこと、さらに大人になってから手に取った大好きな絵本への思い。様々に思いだされ、懐かしさを覚えました。

まさに今、園の子どもたちは、その原体験を繰り返しているのだな、と思います。日々の細かなかけらは忘れてしまっても、積み重ねていくことで自身の思い出や力になっていくのだと思います。

“友達と遊んだ” “喧嘩した” “一緒にこの絵本をみた” “この遊びをたくさんした” “これが好き” “自信がある”など。これらが大きくなった時に“これが得意” “これをもっと知りたい” “もっとやりたい” という力になっていくのでしょうか。

さて絵本といえば、ぱんだ組ときりん組では絵本の貸し出しが始まりました。いよいよ園生活が本格的にスタートしましたね。

ぱんだ組は、担任がこの時期に適した絵本として選んだものを貸し出し、きりん組はいよいよ絵本コーナーに出向き、自身で物語絵本を選び始めています。うさぎ組の貸し出しは、5月の連休明けから始まります。子どもたちは、どんな絵本を選んで持ち帰っていますか？ どのところがお気に入りですか？ 皆さんはそれをご存知でしょうか。

ぜひ、お子さんの選ぶ絵本に関心をもってみてください。大きくなった時に、おうちの人が読んでくれた絵本は忘れないもの。そして、その時の情景も覚えています。長いようで短い子育ての時間。大変だけど、二度と戻ってこないかけがえのない時間です。親子でのひとときを楽しんでください。絵本は、様々な世界に子どもたちを連れて行ってくれます。また、その時の自分の心情と重なっていくこともあります。自分の気持ちにびたりとくる絵本、そして物語。本屋さんがどんどん減っていく世の中ですが、絵本や本の力はいつまでも大きく続くものです。ご自身が好きな絵本を読んだら、どんな反応がかえってくるのでしょうか？

職員のお気に入りの絵本は、これから「ポケット1号」に掲載されます。お楽しみに。



行事予定

◆：★グループ午前保育 ③：うさぎ組 ④：ぱんだ組 ⑤：きりん組

日	曜	5月の行事予定	日	曜	6月の行事予定
1	水	安全指導	1	土	
2	木	尿検査容器配布 [Ⓐ]	2	日	
3	金	憲法記念日	3	月	安全指導 体重測定(全)
4	土	みどりの日	4	火	避難訓練
5	日	こどもの日	5	水	ごっこ活動
6	月	振替休日	6	木	歯科検診
7	火	うさぎ組 個人面談始 [Ⓑ]	7	金	
8	水	尿検査回収日 [Ⓐ] 眼科検診 [Ⓐ] ぱんだ組 個人面談始 [Ⓑ] 新入園児の一時保育始	8	土	
9	木	避難訓練 体重測定(全学年)	9	日	
10	金		10	月	
11	土		11	火	運動遊び アイアイ
12	日		12	水	◆：研究会参加のため
13	月		13	木	④⑤口腔指導
14	火		14	金	
15	水	きりん組 遠足 [Ⓒ] アイアイ [Ⓓ]	15	土	
16	木		16	日	
17	金	ぱんだ組・きりん組 誕生会	17	月	
18	土		18	火	安全指導(高井戸警察の指導)
19	日		19	水	◆：研究会参加のため
20	月	きりん組保育参加参観始 [Ⓔ]	20	木	プール指導始
21	火		21	金	
22	水	◆：研究会参加のため (⑤遠足予備日)	22	土	
23	木	運動遊び(全学年) 耳鼻科検診(13:00～) [Ⓐ]	23	日	
24	金	離任式(13:30) [Ⓕ]	24	月	
25	土		25	火	
26	日		26	水	アイアイ
27	月		27	木	④⑤誕生会
28	火	アイアイ [Ⓓ]	28	金	
29	水		29	土	
30	木	ぱんだ組 保育参加参観始 [Ⓔ]	30	日	
31	金				

・今月の指導・

うさぎ組

入園から約一か月が経ちました。登園時に担任の顔を見てニコニコ笑顔になり、元気に登園する姿が多くみられるようになってきました。「おままごとやりたい。」「ちょうちょやりたい。」「砂場でお山作ろうよ!」とやりたいことを見つけて遊び、楽しんでいる様子が感じられます。毎日の生活の中で身支度の仕方が分かるようになり、『自分でやってみてできた』という嬉しさを積み重ねているうさぎ組です。

5月は次のことを重点に指導していきます。

- 保育者と一緒に好きな遊びを見つけて遊ぶ。
- 先生に手伝ってもらいながら、朝や帰りの支度、弁当の手順や片付け等、生活の進め方を知りやってみようとする。

連休明けると保護者の方と離れがたくなる気持ちを思い出し、登園時にホロリと涙を流す姿がみられるようになることと思います。園ではお子さんの気持ちを丁寧に受け止め、一緒に過ごす中でやりたい遊びを見付け、「あ〜楽しかった!」「また明日も幼稚園に行きたい!」という思いで降園できるようにしていきます。ご家庭でも、お子さんの気持ちを聞きながらゆったりと過ごしてください。少しずつ、園での生活リズムを取り戻していきましょう。

ぱんだ組

進級して約1か月が経ち、少しずつぱんだ組での生活に慣れてきました。「こうしたい」「あれかやりたい」「分からない」「楽しい」などそれぞれ自分の思いを出したり、室内遊びでも戸外遊びでも自分のしたい遊びを見つけて保育者や気の合う友達と一緒に楽しんでいます。

5月は次のことを重点に指導していきます。

- 自分の好きな場所や好きな遊びを見つけて楽しむ。
- 先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 身の周りの始末を保育者と一緒にやろうとする。

ぱんだ組としての生活に慣れ、意欲的に遊んだり、身支度や片付けなども自分から進んで取り組もうとする姿が見られます。一方で、頑張りすぎて疲れが出てきたり、連休明けで久しぶりの登園に緊張する姿が見られることもあるかもしれません。園では、子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止め、温かい雰囲気の中で生活できるように関わっていきます。是非、ご家庭でもお子さんの気持ちを聞きながらゆったりと過ごしてください。

きりん組

一番大きいクラスのきりん組になり、いろいろなことに意欲的に取り組んでいます。当番活動や誕生会の司会などは自分たちで、「きりん組かやるんだ!」と決めました。緊張しながらも、自分たちでやったことが自信につながっています。また、こいのぼりは学級のみinnで作りました。学級全体で共通のめあてをもって取り組む楽しさを感じる姿がありました。

5月は、次のことを重点に指導していきます。

- めあてをもって好きな遊びを自分なりに楽しんだり、気の合う友達と一緒に進めていこうとしたりする。
- グループや学級のみinnで一緒に遊びや活動に取り組むことを楽しみ、つながりを感じる。

今月は遠足があります。みんなで経験したことを基にグループや学級の友達とめあてをもって遊びや活動に取り組む始めます。年長組としての活動が増えていく一方で、疲れが出てくる時期です。友達との思いの調整が難しくなったり、保護者の方に頼ったりする姿も増えると思います。ご家庭と園で気持ちを受け止めていきましょう。

